国史跡指定のための本格的な発掘調査を受けて

特別記念講演会

演題：**周山城址発掘調査結果について**

講演者：**京都市文化財保護課主任　西森正晃氏**

【主な略歴　立命館大学文学部史学科・金沢大学大学院史学専攻［専門：日本考古学］
岐阜市埋文調査所、京都市埋文研究所、2008 年から現職（平安宮・西寺跡等発掘調査従事）】

＜今回の講演のポイント＞

・山城遺構京都府初の国史跡指定に向けた発掘調査が本格化し、その全容が明らかに
・これまで一度も掘り起こされたことなく、土中に埋まったままで４００年の時を経てきた「周山城址遺構」に、初めて本格的な発掘調査の手が
・今回の調査では、中腹にある「虎口」の地表から眺めていただけでは想像し得なかった大規模かつ克明な石垣と建物跡の遺構が表出
・今後、継続的に進められる発掘調査で、眼前に明らかになる遺構の姿は、「雲上の城・竹田城址」にも匹敵するのでは
・特に、本丸（天守台）の独創的な外部形状（Ｅ型の天守台）に隠された当時の築城の姿も次の発掘調査で明らかになるという大きな期待
・国史跡指定への風が吹く今、発掘者が見た城址の実態と今後の可能性を生の声で聴く大変貴重な機会であり、地元関係者はじめ多くの支援者に是非とも受講してほしい

日　時　**令和５年５月２８日（日）午後２時３０分から**
場　所　京都市京北合同庁舎３階ホール
［道の駅「ウッディ京北」の隣］
受講定員　１００名程度　受講料　５００円（資料代）
当日、直接、会場にお越しいただければ結構です
［お問合せ：０９０－５０１２－９４９７（栗山）］

【同時開催】

周山城址登城会の開催（発掘現場解説を含む）

５月２８日（日）午前９時１５分 道の駅「ウッディ京北」集合

参加募集人員：３０名程度　※下城後、昼食予定（軽食持参のこと）
申込・問合せは０９０－５０１２－９４９７（栗山）まで
（当日、直接、集合場所に来ていただいても結構です）